

地域での支え合い活動に関するアンケート調査結果

地域福祉課

1 調査目的

県では、皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、地域住民の方々が互いに支え合い、助け合う活動を支援しており、今後の地域福祉推進の基礎資料とさせていただくため、このような活動に対する皆さんの意識や現状について伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター818人(郵送モニター282人、インターネットモニター536人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和5年8月4日～8月25日

回収結果: 728人(回収率89.0%)

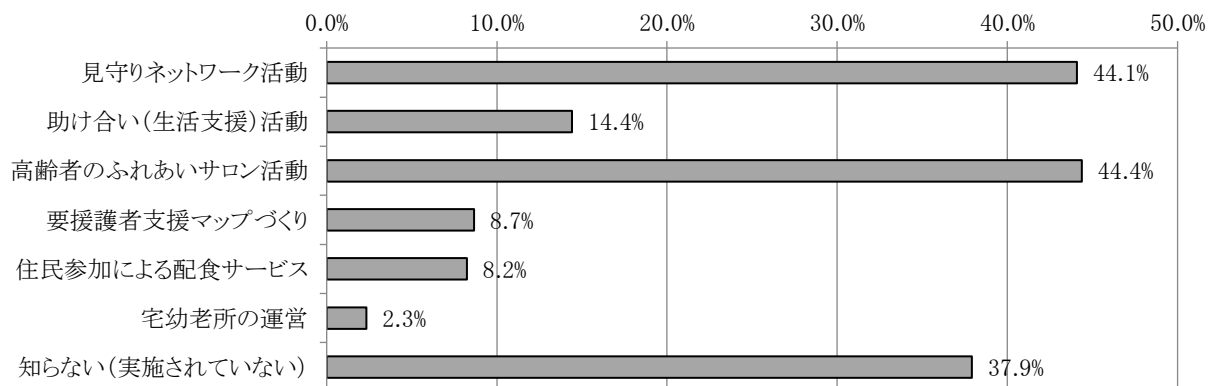
構成比はパーセントで表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

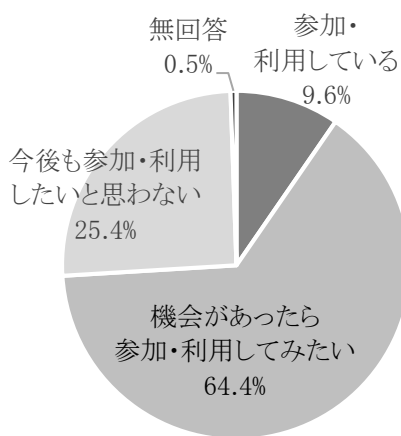
3 結果概要

○地域での支え合い活動の現状

【地域で実施されている活動】



【活動への参加状況】



【活動の継続実施のために必要なこと】(※上位3つ)

- ・活動を担う人材の確保やリーダーの育成(47.1%)
- ・活動内容などの広報・PR(21.4%)
- ・活動に対する資金的援助(12.9%)

【活動に参加しようと思うきっかけ】(※上位3つ)

- ・広報誌などによる活動内容の紹介(48.6%)
- ・活動の見学、活動へのお試し参加(44.7%)
- ・友人、知人からの勧誘(43.6%)

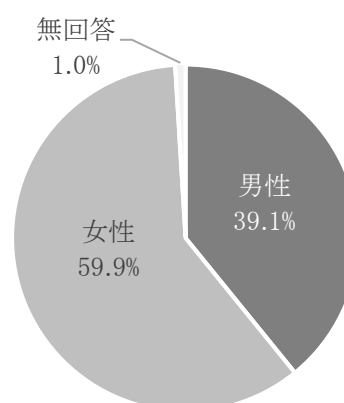
○生活する上での悩みごとや心配ごとを相談できる相手

- ・家族や親戚(86.8%)
- ・友人(58.8%)
- ・職場の上司や同僚(18.3%)
- ・地域(近所)の人(14.0%)
- ・県や市町村などの行政機関(10.7%)
- ・NPOなどの支援団体(1.4%)

4 回答者属性

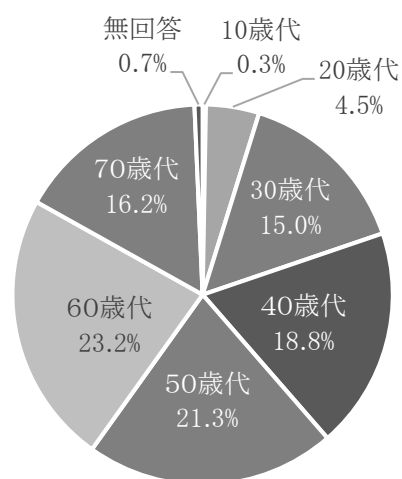
(1) 性別

	人数	割合
男性	285	39.1%
女性	436	59.9%
無回答	7	1.0%
計	728	100.0%



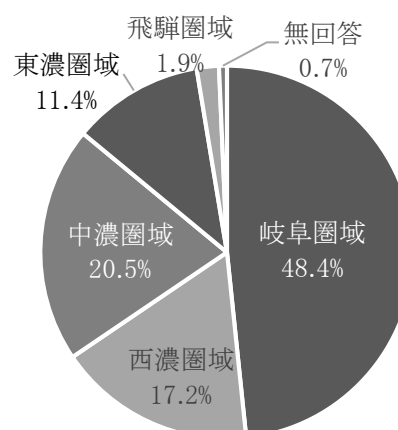
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	33	4.5%
30歳代	109	15.0%
40歳代	137	18.8%
50歳代	155	21.3%
60歳代	169	23.2%
70歳以上	118	16.2%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



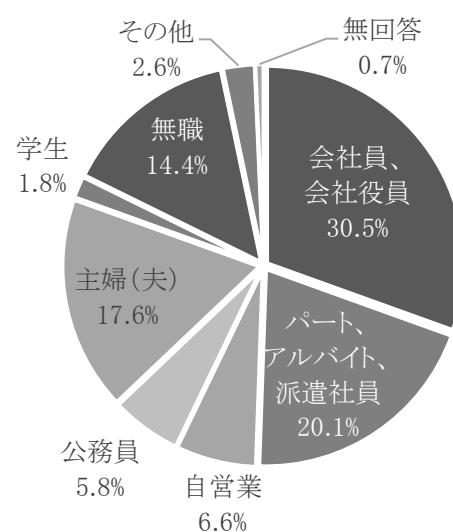
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	352	48.4%
西濃圏域	125	17.2%
中濃圏域	149	20.5%
東濃圏域	83	11.4%
飛騨圏域	14	1.9%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	222	30.5%
パート、アルバイト、派遣社員	146	20.1%
自営業	48	6.6%
公務員	42	5.8%
主婦(夫)	128	17.6%
学生	13	1.8%
無職	105	14.4%
その他	19	2.6%
無回答	5	0.7%
計	728	100.0%



5 調査結果

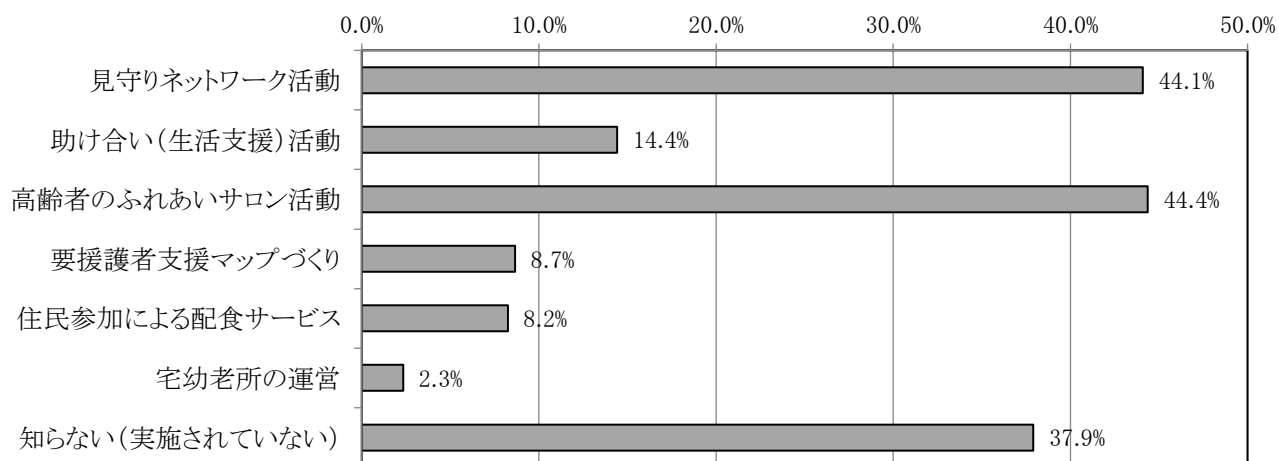
問1 県では、地域福祉の推進を図るため、地域の住民の支え合い活動(以下、「地域支え合い活動」とします。)の実施を推進しています。

あなたのお住まいの地域(自治会や小学校区など)では、どのような地域支え合い活動が実施されていますか。

(複数回答:すべて)

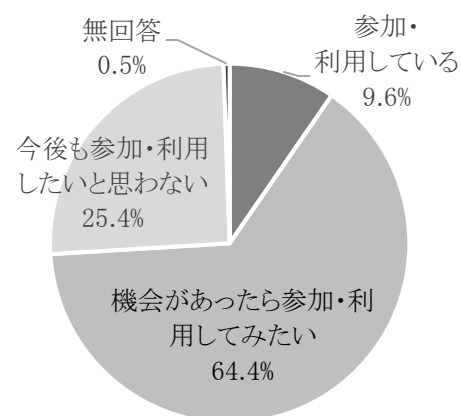
回答者 728 人

	回答数	割合
見守りネットワーク活動	321	44.1%
助け合い(生活支援)活動	105	14.4%
高齢者のふれあいサロン活動	323	44.4%
要援護者支援マップづくり	63	8.7%
住民参加による配食サービス	60	8.2%
宅幼老所の運営	17	2.3%
知らない(実施されていない)	276	37.9%
無回答	0	0.0%
計	1,165	-



問2 あなたは、問1で示した地域支え合い活動に参加または利用していますか。

	人数	割合
参加・利用している	70	9.6%
今は参加・利用していないが 機会があったら参加・利用してみたい	469	64.4%
今は参加・利用しておらず 今後も参加・利用したいと思わない	185	25.4%
無回答	4	0.5%
計	728	100.0%



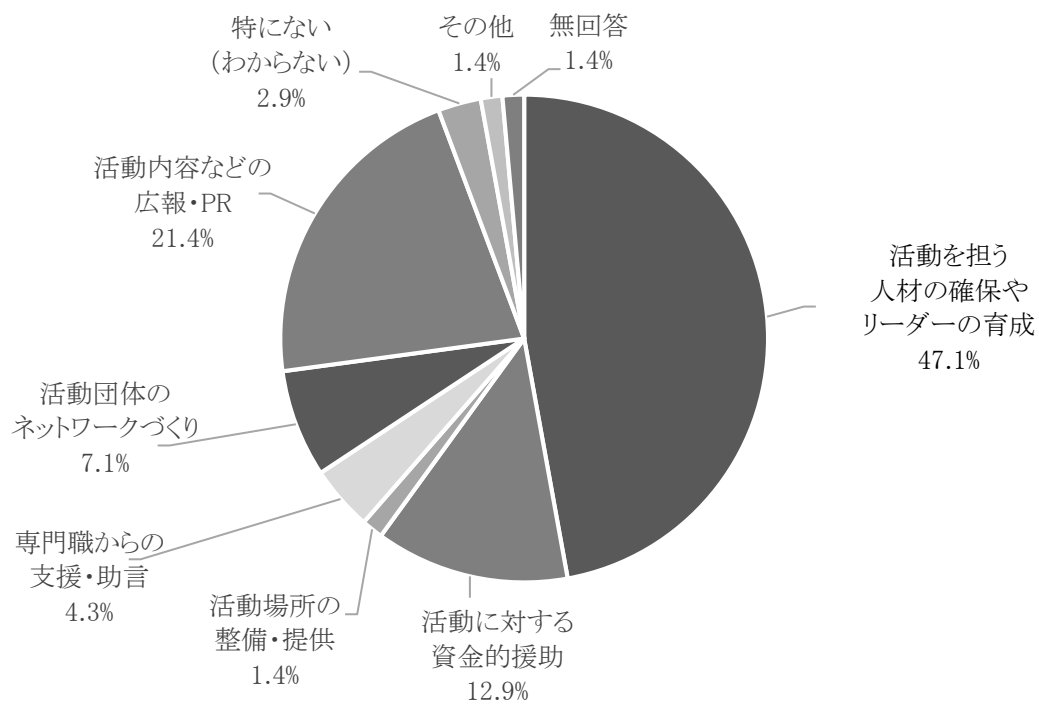
問3（問2で「参加・利用している」と答えた方）

あなたが、現在、参加または利用している地域支え合い活動が継続的に実施されていくためには何が必要だと思いますか。 回答者 70 人

	人数	割合
活動を担う人材の確保やリーダーの育成	33	47.1%
活動に対する資金的援助	9	12.9%
活動場所の整備・提供	1	1.4%
社会福祉士、介護福祉士等 専門職からの支援・助言	3	4.3%
活動団体のネットワークづくり	5	7.1%
活動内容などの広報・PR	15	21.4%
特にない(わからない)	2	2.9%
その他	1	1.4%
無回答	1	1.4%
計	70	100.0%

※「その他」

- ・ ふれあいサロンや健康体操の実施



問4（問2で「機会があったら参加・利用してみたい」「参加・利用したいと思わない」と答えた方）

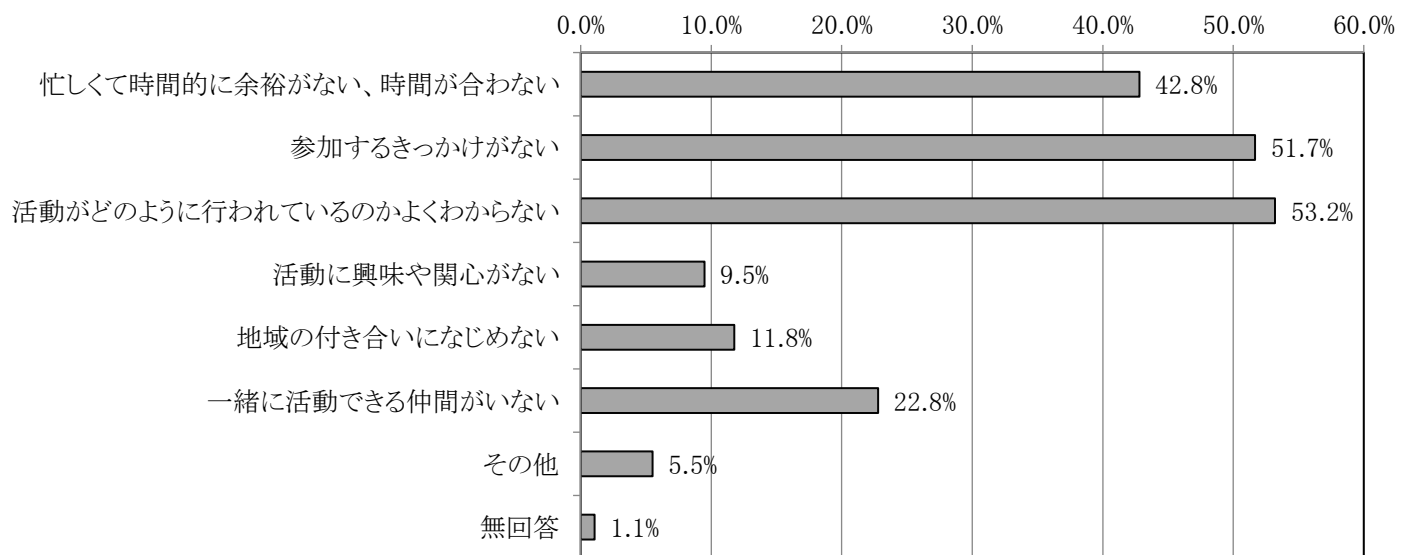
あなたが、現在、地域支え合い活動に参加していない理由は何ですか。

（複数回答:すべて） 回答者 654 人

	回答数	割合
忙しくて時間的に余裕がない、時間が合わない	280	42.8%
参加するきっかけがない	338	51.7%
活動がどのように行われているのかよくわからない	348	53.2%
活動に興味や関心がない	62	9.5%
地域の付き合いになじめない	77	11.8%
一緒に活動できる仲間がいない	149	22.8%
その他	36	5.5%
無回答	7	1.1%
計	1,297	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・健康上の理由で参加が難しい。
- ・活動場所が遠い。
- ・活動には参加していないが、近所で助け合っている。
- ・参加の必要性を感じていない。



問5（問4で「参加するきっかけがない」「活動がどのように行われているのかよくわからない」と答えた方）

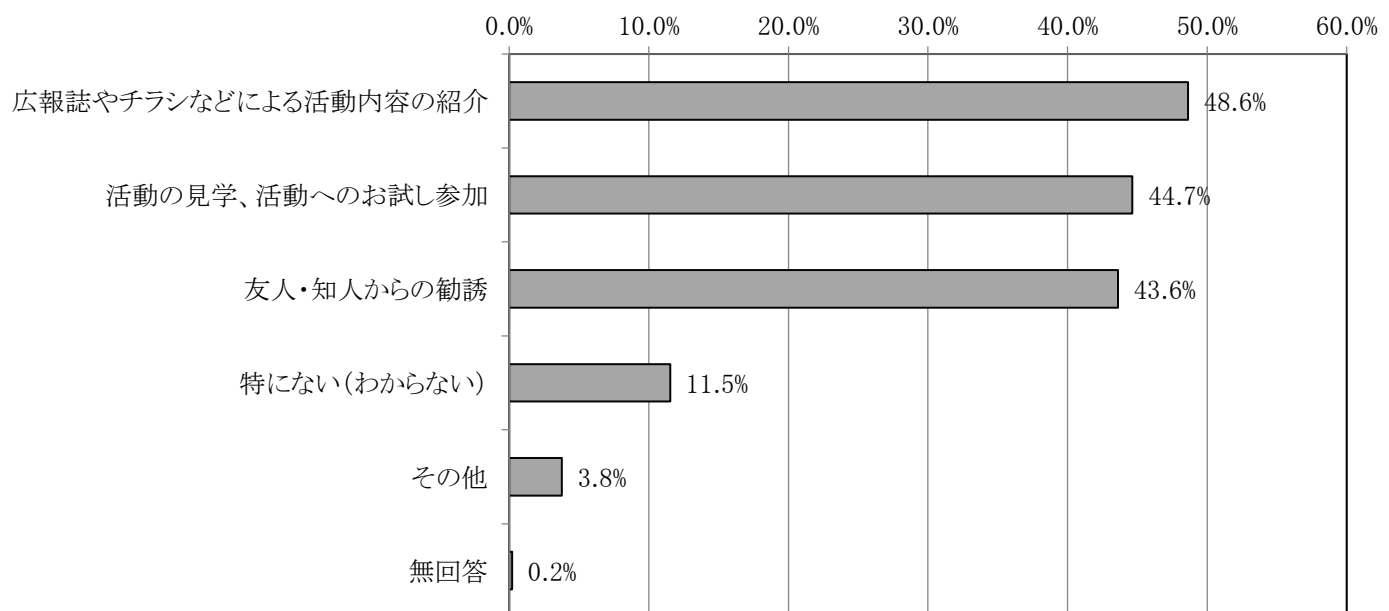
あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域支え合い活動に参加しようと思いますか。

（複数回答:すべて） 回答者 477 人

	回答数	割合
広報誌やチラシなどによる活動内容の紹介	232	48.6%
活動の見学、活動へのお試し参加	213	44.7%
友人・知人からの勧誘	208	43.6%
特にない(わからない)	55	11.5%
その他	18	3.8%
無回答	1	0.2%
計	727	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・活動のための時間的余裕ができた
- ・自治会への入会
- ・障がい者の参加のための配慮



問6 生活する上での悩みごとや心配ごとがあった場合に、あなたが相談できる相手は誰ですか。

(複数回答:すべて)

回答者 728 人

	回答数	割合
家族や親戚	632	86.8%
友人	428	58.8%
職場の上司や同僚	133	18.3%
地域(近所)の人	102	14.0%
県や市町村などの行政機関	78	10.7%
NPOなどの支援団体	10	1.4%
相談できる相手はいない	40	5.5%
その他	14	1.9%
無回答	0	0.0%
計	1,437	-

※「その他」のうち、主なもの

- ・家族や親戚以外の同居人
- ・医療の専門家
- ・弁護士
- ・市町村議会議員

